

5) 城北家畜保健衛生所 [H27 年度]

【施設の特徴】

この施設は、機能上検査室等の防疫部分は主要構造部を耐火や消毒可能な内装材が必要とされますが、防疫部分以外を積極的に木造化・木質化を図っています。木造部分は施工性やコスト面に長けた在来工法やトラスとし、構造材は流通している断面寸法を採用しています。また、地域の文化を包含すべく、伝統工芸の団扇の形態をデザインに取り込む工夫をしています。木造設計アドバイザー制度の活用は、中央家畜保健衛生所に引き続き、2回目です。



(建物外観 (前面メイン))

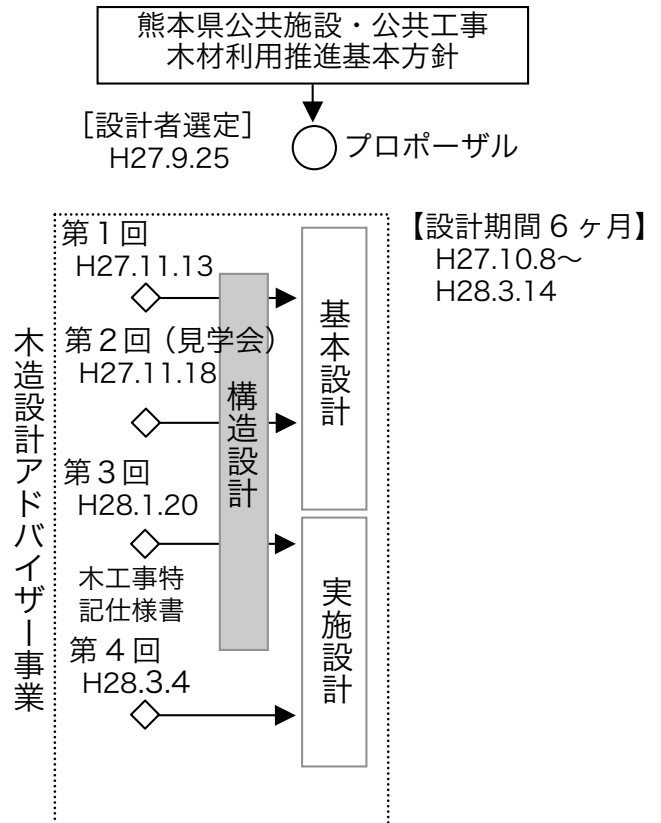


(建物外観 (配置))

【城北家畜保健衛生所の概要】

所在地：山鹿市鹿本町御宇田地内
 構造・階数：木造一部 RC 造 平屋建て
 延べ面積：1,028.76 m²
 建築主：熊本県
 設計：大和設計(株)
 使用木材数量 91m³使用 (見込み)
 (杉 87 m³、桧 4 m³)

【事業の流れ】



(県立熊本かがやきの森支援学校見学会)

【設計者の感想】

2 回目の制度利用で、前回内容の復習となるが、さらに展開した話が聞けたら尚、良い。流通材に加え、その土地特有の木材、さらに植生、加工技術等の地域の情報があると、もっと設計に活かせると思った。



設計担当者

大和設計(株) 有江正知氏、山下直人氏